

令和 7 年 度

階上町下水道事業会計予算

青森県階上町

議案第24号

令和7年度 階上町下水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和7年度階上町の下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

- (1) 排水人口 2,940人
- (2) 年間処理水量 247,000 m³
- (3) 主な建設改良事業
 - ア 管渠事業 公共下水道事業污水管路工事 延長700m
88,600千円
 - イ 処理場事業 自家発電整備に係る工事 1か所
24,100千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

- 第1款 下水道事業収益 241,224千円
 - 第1項 営業収益 43,836千円
 - 第2項 営業外収益 197,388千円

支 出

- 第1款 下水道事業費用 314,602千円
 - 第1項 営業費用 285,540千円
 - 第2項 営業外費用 27,062千円
 - 第4項 予備費 2,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額698千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填するものとする。)

収 入

- 第1款 資本的収入 256,977千円

第1項	企業債	68,700千円
第4項	他会計補助金	123,926千円
第6項	国庫補助金	57,200千円
第7項	県補助金	2,240千円
第8項	負担金等	4,911千円

支 出

第1款	資本的支出	257,675千円
第1項	建設改良費	131,501千円
第3項	企業債償還金	123,924千円
第6項	基金積立金	2,250千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
下水道事業に伴う水洗便所改造等資金融資斡旋制度による申請者に対して融資された融資額に対する利子及び保証料の補給	令和8年度以降水洗便所改造等資金借入金償還期間満了の日まで	貸付融資残高に対し、貸付年度及び金融機関毎に契約した年利率により算定した額

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利 率	償還の方法
下水道事業	68,700千円	普通貸借又は証書借入	10.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金又は地方公共団体金 融機構資金について、利	政府資金についてはその融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するところによる。ただし、町財政の都合により、据置

			率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	期間を短縮し、若しくは繰上償還、又は低利に借換えすることができる。
--	--	--	----------------------------	-----------------------------------

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、40,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 次条に定める経費以外の同一款内の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 26,523千円

(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業運営のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、232,794千円である。

令和7年2月28日提出

階上町長 荒谷 憲 輝